

会 議 録

会 議 の 名 称	第 4 回 大内地域協議会
開 催 日 時	平成 2 1 年 3 月 1 8 日 (木) 午後 2 時
開 催 場 所	岩谷会館
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	小松 敏博 (3/9 逝去) 佐々木 源治 鈴木 久雄 鈴木 哲 佐々木 多悦 佐々木 秀雄 伊藤 直子
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 佐々木理事あいさつ 4. 案 件 1) これまでの大内地域協議会案件について (報告) 2) 8 地域協議会会長・副会長会議について (報告) 3) 今後の地域協議会のあり方について 現委員の任期について 今後の地域協議会について 4) その他 5. その他 6. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿

(38名)

会 長	佐々木 盛三	富士盛久美子	理 事	佐々木永吉
副会長	佐々木 ハツ	東海林 重	総合支所	
	鈴木 郁夫	堀川 一博	総合支所長	荘司 和夫
	小嶋 宏	東海林 長子	振興課長	工藤 良
	佐々木 政勝		建設課長	佐藤 光男
	加藤 龍一		教育学習課長	小助川弘高
	小松 弘		市民課長	佐藤 光治
	佐々木 恭悦		福祉保健課長	佐々木良行
	東海林 昇		産業課課長	鈴木 一
	金子 幸子		下川大内出張所長	星川 謙
	齊藤 豊		上川大内出張所長	菊地 久昭
	東海林スツエ		事務局	
	田口 正夫		主席参事	遠藤 信悦
	伊藤 花子		参 事	加藤 均
	布施 隆子		参 事	堀 良隆
	佐々木 正男		主 査	真坂 輝仁
	小笠原 良一		主 任	鈴木 祐也
	吉田 千代治		主 事	田口 達也

会議の経過

第4回 大内地域協議会

平成21年3月18日（木）

午後2時00分 開会

事務局 (参加委員が22名であり2分の1以上の出席であることを報告)
只今から第4回大内地域協議会を開催します。
3月9日に前会長がご逝去されました。
御冥福をお祈りし黙祷を行います。ご起立ください。(黙祷開始、終了)

会長よりあいさつをお願いします。

会長 (あいさつ)

事務局 佐々木理事よりあいさつをお願いします。

佐々木理事 (あいさつと地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金等の説明)
平成21年度予算要求の大内地域に関する主な事業を荘司総合支所長より
ご報告いたします。

荘司総合支所長 大内地域の主な予算要求事業を紹介させていただきます。
(携帯電話鉄塔、公共下水道事業及び農業集落排水事業と加入促進のお願い、
簡易水道整備事業、市道整備交付金事業、耐震貯水槽整備等について)
これらが大内地域の大きな事業として予算をお願いしておりまして、明日、
議決をいただければ、後日詳細についてご説明したいと考えております。

事務局 案件に入ります。進行を会長よりお願いします。

会長 案件1)について。事務局から報告願います。

事務局 (配布資料により平成17年度から今回までの開催状況を報告)
詳細につきましては、市のホームページあるいは事務局の会議録等でご確認
ください。以上です。

会長 今の報告についてご質問等ありませんか。
(質問、意見等無し)

会 長

無ければ、案件2に移ります。

この件につきまして、私からご報告いたします。

（8地域協議会会長・副会長連絡会議について、第1回連絡会議が1月16日大内で開催されたこと、参加者と案件について、会議後の施設の視察について説明）

会議の内容ですが、各地域協議会の開催状況、委員の出席率について、現在の委員数が適当かどうか、等々の報告や話し合いをしました。この4年間の感想として、皆さんも感じているかもしれませんが、市からの諮問事項の協議だけで、いわゆる市からの「一方通行」の形の会で4年間を過ごしたように感じる、といった全体的な話が有りました。私も同感です。

今後は、本来の地域協議会のあり方については、地域のさまざまな問題を協議して市に提言していくことが大事だといったことが意見として出た。その他に、定住自立圏構想に関する話がありました。

以上が今回の会議の主な内容でした。

副 会 長

私も参加させていただきました。話し合いの中で感じたことは、支所だよりも地域協議会の事も載せていただいて報告しているところもありました。他の市に視察を実施しているところもありました。後は、全体的には委員数が多く感じる、出席率が低い、責任感の無い会に感じるといったお話でしたし、この後の案件にもありますように、今後の地域協議会のあり方など、一地域のことでなく全体に共通する話題もあるだろうといった話も出ました。

会 長

副会長から、大変重要な補足をいただきありがとうございました。

どこの協議会も、暗中模索状態でスタートしてまずはやってきてみた、と言った状態でした。今度、新委員での会が始まった場合は、今までのことを十分踏まえた上で会を運営してほしいといった話でした。

以上、報告いたしますが、質問等ありますか。

（意見等無し）

会 長

案件3に移ります。事務局より説明願います。

事 務 局

案件についてご説明いたします。

（任期は、本年6月末日までお願いしたい旨を説明）

（8地域協議会連絡会議でもこれまでとこれからの地域協議会について、委員数や協議内容について話し合われ、今後の地域協議会の充実と円滑な運営のため協議していただきたい旨を説明）

- 会 長 任期についてはご理解していただけますでしょうか。
(意見等なし)
- 会 長 今の委員での協議会の開催は本日が最後と思われるが、任期について了承をお願いします。委員数や協議会の内容についてご意見ございませんか。
- 工藤振興課長 補足説明いたします。(委員数について、条例・規則等の説明)
この地域の実態にあった委員数は何人くらいが良いのか、ここでの話し合いをもとに事務局で全体的な均衡を考慮した委員数としようとしているのではないかと思います。
- 会 長 大内地域のことを反映していくためには何人くらいが適当と考えますか。
ここで出た人数で決まるとは思いませんが、自由なご意見をお願いします。
- A 委 員 委員は市の諮問に応じて協議することになっているが、先ほども話が出ましたが、私も「市から地域協議会への一方通行」と感じています。
私は地方自治の最小の単位は町内会であると考えています。全市的な事の話し合いも大切だが、町内会のような小さな組織についての話し合いこそ必要と考える。私の考える町内会と、市で考える町内会・行政協力員の関係がどうしても一致しなかった。委員の出席率も大事だが、本当に大切なのは何が話し合われたかだと思います。4年間の協議内容で最も印象に残ったのは、19年度第4回の組織機構改正と施設運営の見直しを行った会です。市の一方的な説明だけで終わったような感じだ。これが「市の諮問」であるならばこの会は必要ないと感じた。4年間の感想です。今後は、説明を受けるだけではなく市に対しての意見を述べていくような会にしていくべきだと思います。長々と自分の反省を述べさせていただき恐縮です。
- B 委 員 協議会の内容を周知することに力を入れるべきだ。我々の身近な地域の問題を話し合われていることを知っていただくようにしてほしい。ある地域では、支所だよりのようなもので内容を紹介しているという話を聞いた。
- C 委 員 支所・出張所や施設の廃止の話題は、現在どのようになっているか伺いたい。
- 佐々木理事 出張所は、その地域によってさまざまな機能があるはずだ、全市一律での役割ではない、との意見が大変多かった。その通りであります。まずは、前回提案した見直しについては白紙にさせていただいた。今後、見直しを検討していく。見直しのポイントになるのが、それぞれの地域ごとの出張所機能とその必要性についてです。全ての出張所が同じ機能ではない、ということです。
現在は、こういった考えで進めようとしているのではないかと思います。今後

の見直しでは、全地域一律とはならないのではないかと想像しております。スケジュール等は広報でお知らせしていると思いますし、ご理解願います。

C 委 員

分かりました。

工藤振興課長

合併当時、支所だよりを出していましたが、個々で出すのはやめることにしたようです。ですが、現在出している支所もあります。大内ではケーブルテレビがあり、頻繁に地域内の連絡が流れていたと思います。今は由利本荘市ケーブルテレビとなり全地域の行事すべてに対応はできなくなった。そこで大内支所通信的なものを出すことを検討しています。行事や連絡事項の簡易なお知らせを考えております。

地域協議会の運営について専門部会や役員会のような運営をしているところもあるようです。こういったことも含めて皆様からのご意見を伺いたいと思います。他の地域協議会でも同様の話し合いが行われております。

副 会 長

ゴミや環境問題などは市全体の問題であり、市の広報を積極的に利用すべきだと思います。岩谷町内会では、不適切なゴミの出し方をした場合注意する方がいらっしやるそうです。すると、注意された方の中には、「いいです。本荘に持って行く。本荘では収集するから。」と、いってそちらの方に持って行くそうです。全市統一していかなければならないのではないかと。皆に周知すべき事は毎回でも1行でも広報に掲載すべきではないかと思う。

D 委 員

私も、本荘地域で不適切なゴミの出し方をしているのを見かけたことがある。こういうことは当然、ばらばらな対応ではなく統一した対応をするべきだと思います。おかしいんじゃないかと思います。そのことはどうなっているのでしょうか。

佐藤市民課長

現状では今のお話にあったようなこともあるようです。さまざまな理由によりそういうこともあります。本荘地域ではそのままでいいということは決してなく、正しいごみの出し方について、根気よく指導と協力を行っているようですので、ご理解をお願いいたします。

会 長

委員の数についてのご意見ありませんか。

E 委 員

大内地域は30名で良いと思います。

会 長

30名以外の意見はありませんか。
(意見等なし)

会 長	大内では30名が適当と言うことだと思います。
F 委 員	今後、この会を続けていくのであれば、出張所の廃止にしても「こう決まりましたのでお知らせします。」と言った説明ではなく、「廃止したいが地域の意見はいかがか。」といった話し合いでやっていただくことを特にお願したい。
会 長	ほかにご意見ありませんか。無ければ、その他に入ります。
G 委 員	議会中なので可能な範囲で市の財政について教えていただきたい。市の自主財源比率や起債残高について義務的経費の割合、市税の減額率などを教えていただきたい。議員年金が破たんするとの話を聞いたが市の負担はいかがか。
佐々木理事	把握している範囲でお答えいたします。(説明) 詳しくは今後の広報をご覧ください。 議員年金については存じていませんので。
荘司総合支所長	議会事務局に問合せが必要と思いますので時間をください。
C 委 員	以前お願いした、上川地区の救急体制整備について。今後も継続して協議してもらいたい。
B 委 員	岩谷会館使用料金について。
工藤振興課長	施設利用料は、使用者負担が原則ですが、岩谷会館は建設当時の諸事情により町内会負担となっています。できれば使用者負担の方向です。今後1年かけて十分な協議をしてまいりたい。今回は条例改正をしていません。
H 委 員	定額給付金の申請受け取りが煩雑で困る。
工藤振興課長	確かにそういったことが発生します。こちらでも同様の相談をしていました。通帳のコピーは、振り込み手続きの間違い防止に必要です。さまざまな苦情がありますが、いずれ、制度上そうなっていますのでご理解願いたい。
佐々木理事	手続き上ご不便をおかけして申し訳ありません。私も個人的にはH委員と同じ思いを持っております。ですが、このお金は国からのお金ですので、後に会計検査院の検査対象でもあり書類等の整備は必ずしておかなければなりません。皆様に手続きのお願いするしかありません。ご理解をお願いします。

会 長 ほかにありませんか。

(発言なし)

会 長 無ければ案件は以上で終了します。

事 務 局 その他についてございませんか。

(な し)

事 務 局 無ければ以上で終了いたします。

午後 4 時 00 分 閉会